

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 01 道路環境の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置付けている都市計画道路、道路利用者	道路施設の計画的な整備と適切な維持管理が行われ、道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標①	幹線道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	76.0	80.8	-	➔
評価	(状況) 幹線道路に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートにより取得しているため、実績値が未取得となっています。 ただし、道路整備年次計画に基づき、道路の拡幅や道路舗装修繕等を効率的に実施し、適切な維持管理を継続しているため、幹線道路に満足している市民の割合は前年度と比較し、横ばいで推移しているものと推測されます。						目標達成度

指標②	生活道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	73.1	73.3	-	➔
評価	(状況) 生活道路に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートにより取得しているため、実績値が未取得となっています。 ただし、地域からの要望を受け、生活道路としての利用を踏まえ、緊急性や優先度を考慮し、継続して整備しているため、生活道路に満足している市民の割合は前年度と比較し、横ばいで推移しているものと推測されます。						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備
基本事項 02 道路維持管理の推進
基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項01 道路の整備

指標①	市道の改良率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	64.2	64.7	64.7	64.3	(向上)
評価	(状況) 市道の改良率は64.7%で、前年度と同値です。総合計画基準値 (H28) と比較すると0.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市道7路線の改良工事L=871mを実施しましたが、市道認定路線が4路線増え、管理延長についても279m増えたことにより、実績値が前年と同値となっています。						目標達成度 (達成)

基本事項01 道路の整備

指標②	市道の舗装率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	70.3	71.2	71.3	70.5	(向上)
評価	(状況) 市道の舗装率は71.3%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 生活道路等の利用状況を精査し9路線、延長約1,007mの舗装を実施しましたが、市道の認定路線が4路線増え、管理延長についても279m増えたことにより、実績値が微増となっています。						目標達成度 (達成)

基本事項02 道路維持管理の推進

指標①	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	3	6	1	0	(向上)
評価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は1件で、前年度と比較すると5件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると2件減少しました。 (原因) 定期的なパトロールや「レポナウすかがわ」への投稿情報などから、道路の不具合に対し早急な修繕対応等を行っています。道路側溝の鉄製蓋の跳ね上りにより、車両の物損事故が1件発生しました。						目標達成度 (高)

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標①	橋りょう定期点検実施率 (2巡目：2019 (R1) 年～2023 (R5) 年)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	79.8	26.0	46.3	80.0	(向上)
評価	1巡目：2014 (H26) 年～2018 (H30) 年 (状況) 1巡目の橋りょう定期点検実施率は100%で、2巡目の点検実施率は46.3% (188橋/406橋) です。 (原因) 平成26年度より開始した1巡目 (5ヶ年) の橋りょう定期点検が平成30年度に完了し、令和元年度より2巡目となる橋りょう定期点検 (3年目) が順調に実施されたためです。						目標達成度 (高)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備
基本事項 02 道路維持管理の推進
基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標②	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	5.0	53.2	50.0	100.0	(向上)
評価	<p>(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率は50.0%で、前年度と比較すると3.2ポイント減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると45.0ポイント増加しており、順調です。 (原因) 道路メンテナンス補助事業を活用し、関田橋の橋りょう修繕工事を実施しましたが、定期点検結果により、修繕を要する橋りょう数が増加したことが要因となっています。</p>						目標達成度
		■ ■ ■ (中)					

基本事項04 都市計画道路の整備

指標①	都市計画道路の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	84.5	85.4	85.4	85.7	(向上)
評価	<p>(状況) 都市計画道路の整備率は85.4%で、前年度と変わりませんが、総合計画基準値(H28)と比較すると0.9ポイント増加しており順調です。 (原因) 国道4号を補完する関下一里坦線の狐石工区が完了し、供用開始したためであり、引き続き道路整備を進めてまいります。</p>						目標達成度
		■ ■ ■ (高)					

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 02 住環境整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市域	市街化区域の利便性が高まり、暮らしやすい住環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標①	市街化区域の人口割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【都市計画課】	%	52.2	53.9	54.2	→
評価	(状況) 市街化区域の人口割合は54.2%で、前年度と比較すると0.3ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると2.0ポイント増加しており、順調です。 (原因) 市街化区域内の暮らしやすい住環境整備が進み、利便性が向上していることが要因として考えられます。						☀️ (向上)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進
基本事項 02 都市機能の集約
基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進
基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標①	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【建築住宅課】	棟	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物等の数は0棟で、令和元年度以降、平成28年の総合計画基準値を維持しています。 (原因) 建築確認審査、中間・完了検査、違反建築パトロールを厳正に行うことにより、適正に建築されていることが要因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標②	市街化区域内の未利用地面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	km ²	3.3	3.3	3.2	2.4	(横ばい)
評価	(状況) 市街化区域内の未利用地面積は3.2km ² で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較すると0.1km ² 減少しておりますが、横ばいです。 (原因) 開発行為等による土地利用が進んでいることが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項02 都市機能の集約

指標①	都市機能の集約割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	67.0	75.0	75.0	75.0	(向上)
評価	(状況) 都市機能の集約割合は75.0%で、前年度と変わりませんが、総合計画基準値 (H28) と比較し、8.0ポイント増加しており、順調です。 (原因) 文化・交流施設である風流のはじめ館の完成により、利便性の高い都市施設の集約が図られていることが要因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標①	公園の整備・維持管理に対する住民満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	81.1	79.9	-	➔	---
評価	(状況) 公園の整備・維持管理に対する住民満足度の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値は未取得となっています。ただし、構成している基本事項の成果指標は横ばいであり前年度同様に現状維持であると考えられます。市内公園については、適切な維持管理が行われていることと、公園内でイベント等が開催されるなどにより、公園に対する関心が高まってきていると考えられます。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	適切な土地・建物の利用推進
基本事項 02	都市機能の集約
基本事項 03	安全で快適な公園緑地化の推進
基本事項 04	良好な都市景観の創出・維持

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標②	公園維持管理上の不具合等による支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	件	30	23	25	27	(向上)
評価	(状況) 公園維持管理上の不具合等による支障件数は25件で、前年度と比較し2件増加ですが、総合計画基準値 (H28) と比較し5件減少しており順調です。内訳は、遊具などの施設の不具合が10件、除草や樹木の伐採に関するものが9件、施設利用やマナーによるものが1件、その他5件となっています。 (原因) 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具や樹木等の日常点検を行っていることが要因と考えられます。					目標達成度	
							(達成)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標③	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	m ²	11.3	11.9	12.0	11.6	(向上)
評価	(状況) 市民1人当たりの公園使用面積は12.0m ² で、前年度と比較し0.1m ² 増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.7m ² 増加しており目標値を達成しています。 (原因) 墓地公園の供用面積が毎年増えていることと、指標の分母である総人口が減少していることも原因と考えられます。					目標達成度	
							(達成)

基本事項04 良好な都市景観の創出・維持

指標①	都市景観が良好だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	82.6	87.6	-	→	---
評価	(状況) 都市景観が良好だと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値は未取得となっています。ただし、構成している基本事項の成果指標が横ばいの状況であり、概ね順調に推移していると考えられます。市内中心部では、市民交流センターtetteや、風流のはじめ館のオープンにより、まちに賑わいが生まれ、まちなみの一体感が生まれたことが要因と考えられます。					目標達成度	

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 03 水道水の安定供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
水道利用者	安全・安心な水の安定供給がなされています。

施策の成果状況と評価

指標①	水道施設の不具合における断水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【水道施設課】	件	9	1	0	0
評価	(状況) 水道施設の不具合による断水件数は0件(漏水)で、前年度と比較すると1件減少し、総合計画基準値(H28)と比較しても9件減少しているため、目標を達成しています。 (原因) 水道施設の維持管理を適正に実施したことによるものです。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

指標②	水道水が安全・安心だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【水道施設課】	%	88.0	91.5	-	➔
評価	(状況) 水道水が安全・安心だと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値は未取得となっています。ただし、構成している基本事項の実績から、順調に目標に向かっていくと推測できます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	水道施設の耐震化
基本事項 02	水道施設の適切な維持管理
基本事項 03	水道事業の経営安定化

基本事項01 水道施設の耐震化

指標①	浄水施設の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	38.5	38.5	91.2	91.2	(向上)
評価	(状況) 浄水施設の耐震化率は91.2%となり、目標を達成しました。 (原因) 平成23年度から進めておりました西川浄水場 (19,500m ³ /日) の改築事業が完了したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 水道施設の耐震化

指標②	基幹管路の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	43.8	48.6	48.7	47.0	(向上)
評価	(状況) 基幹管路の耐震化率は48.7%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較しても4.9ポイント増加しています。 (原因) 芹沢栄町配水管の耐震化を実施したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標①	浄水施設の不具合件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	1	1	2	0	(低下)
評価	(状況) 浄水施設の不具合件数は2件 (岩淵1号ろ過ポンプ、岩淵4号送水ポンプ電動弁) で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較して1件増加しております。 (原因) 計画的に分解整備や機器の更新を実施しておりますが、経年劣化等により、故障が発生するためです。						目標達成度
							(低)

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標②	配水管の漏水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	15	7	2	7	(向上)
評価	(状況) 配水管の漏水件数は2件で、前年度と比較すると5件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較しても13件減少しているため目標値を達成しています。 (原因) 経年劣化等により漏水は発生しますが、計画的な更新と共に漏水調査等を実施し、維持管理業務を適正に進めているためです。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	水道施設の耐震化
基本事項 02	水道施設の適切な維持管理
基本事項 03	水道事業の経営安定化

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標①	有収率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	90.5	90.8	90.8	92.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 有収率は90.8%で、前年度と比較すると同率となり、総合計画基準値(H28)と比較すると0.3ポイント増加しており、目標値に近い値となっています。</p> <p>(原因) 水道施設(管路等)の更新に伴い、老朽管などからの漏水等の改善が進められている一方、老朽管も一定程度あるためです。</p>						目標達成度
		■ (中)					

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標②	料金回収率(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	%	107.8	97.9	106.0	100.0以上	---
評価	<p>(状況) 料金回収率は106.0%で、前年度と比較すると8.1ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.8ポイント減少しましたが、目標値100.0以上は達成しています。</p> <p>(原因) 前年度は新型コロナウイルス感染症の対策として水道料金の軽減(80,435千円)を行ったことにより、給水収益が減少し、これにより実績値も減少しましたが、令和3年度は同様の措置を実施していないことにより、給水収益が増加したためです。</p>						目標達成度

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標③	経常収支比率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	%	116.4	109.9	113.3	100.0以上	(横ばい)
評価	<p>(状況) 経常収支比率は113.3%で、前年度と比較すると3.4ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると3.1ポイント減少しましたが、ほぼ横ばいで、目標値は達成しています。</p> <p>(原因) 業務費が10,133千円、減価償却費が9,617千円減少するなど、経常費用が減少しているためです。</p>						目標達成度
		■ (達成)					

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 04 生活排水対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	生活排水処理施設により、市民の生活排水が適正に処理され、下流域の河川や湖沼などの水環境が向上します。

施策の成果状況と評価

指標①	汚水処理人口普及率（公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽の合計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【下水道施設課】	%	81.2	83.4	83.7	85.4
評価	<p>(状況) 汚水処理人口普及率は83.7%で、前年度と比較すると0.3ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると2.5ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 公共下水道管きよの整備が進んだことにより、供用開始区域が拡大したことや、単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換が進んでいることから、汚水処理人口普及率が向上したものです。</p>						☀️ (向上)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標①	公共下水道整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	73.9	80.0	80.5	84.2	(向上)
評価	<p>(状況) 公共下水道整備率は80.5%で、前年度と比較すると0.5ポイント増加し、総合計画基準値 (H28)と比較すると6.6ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 第1処理分区 (和田道、朝日田地内)と第3処理分区 (森宿地内)の整備が進捗したことにより、下水道施設を使用できる区域面積が平成28年度の926haから1,008haへ増加したことによるものです。</p>						目標達成度 ■■■ (中)

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標②	転換による合併処理浄化槽設置基数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	基	1,929	1,993	2,005	2,279	(向上)
評価	<p>(状況) 単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換による合併処理浄化槽設置基数(累計)は2,005基で、前年度との比較では12基増加し、総合計画基準値 (H28)との比較では76基増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換により合併処理浄化槽を設置する場合の上乗せ補助を、平成30年度から実施していることなどが要因と考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (低)

基本事項02 水洗化の促進

指標①	公共下水道水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	79.7	80.7	81.4	81.5	(向上)
評価	<p>(状況) 公共下水道水洗化率は81.4%で、前年度と比較すると0.7ポイント増加し、総合計画基準値 (H28)と比較すると1.7ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 公共下水道の整備が進んだことで供用開始区域が拡大し、接続者が増加したことや、未接続者に対し、継続して接続勧奨の通知等を行っていることが、水洗化率の向上につながっていると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)

基本事項02 水洗化の促進

指標②	農業集落排水施設水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.8	89.3	90.3	94.2	(向上)
評価	<p>(状況) 農業集落排水施設水洗化率は90.3%で、前年度と比較すると1.0ポイント増加し、総合計画基準値 (H28)と比較すると1.5ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 未接続者に対し継続して接続勧奨の通知等を行っていることが、水洗化率の向上につながっていると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標①	管きよの維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	3	4	1	0	(向上)
評価	(状況) 管きよの不具合・トラブル件数は1件で、前年度と比較し3件減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると2件減少し順調です。 (原因) 管きよの定期点検及び清掃を年3回実施すると共に、家庭や事業所などにおいて、下水道を適切に使用していただいている結果です。						目標達成度 (高)

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標②	処理場の維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	0	1	0	0	(向上)
評価	(状況) 処理場の維持管理の不具合・トラブル件数は0件で、前年度と比較すると1件減少しており、総合計画基準値 (H28) と同数であり、目標を達成しています。 (原因) 処理場の維持管理については、専門知識を有する業者に委託すると共に、遠方監視システムにより、迅速な対応を行っております。また、施設の老朽化に対応するため、設備・機器の修繕、更新を適切に行っているためです。						目標達成度 (達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標①	公共下水道使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m ³	146	176	176	150以上	(向上)
評価	(状況) 公共下水道使用料単価 (収益) は176円/m ³ で、前年度と同額となり、総合計画基準値 (H28) と比較すると30円/m ³ 増加しており、目標値を達成し、経営の安定化が図られています。 (原因) 供用開始区域拡大による接続件数の増加により、調定額及び有収水量がそれぞれ増加しましたが、有収水量の増加に比例して調定額が増加する使用料体系のため、横ばいとなっています。						目標達成度 (達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標②	農業集落排水処理施設使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m ³	174	170	167	175	(低下)
評価	(状況) 農業集落排水処理施設使用料単価 (収益) は167円/m ³ で、前年度と比較すると3円/m ³ 減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると7円/m ³ 減少しています。 (原因) 接続件数の増加により有収水量は増加しましたが、収入額は過年度未収金の減少により減額となっています。使用料単価は「収入額/有収水量」で算出するため、実績値が減少しています。						目標達成度 (低)

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 05 環境の保全と循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標①	自然環境に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【環境課】	%	87.9	89.7	-	→
評価	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値は未取得となりました。ただし、構成している基本事項の成果指標も、概ね良好であることから目標は達成されているものと推測されます。						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進
基本事項 02 水と大気環境の保全
基本事項 03 放射線対策の推進
基本事項 04 生活衛生の向上
基本事項 05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項01 低炭素社会の推進

指標①	市管理施設の二酸化炭素排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	t-CO2	9,743	8,879	9,451	7,840	(横ばい)
評価	(状況) 市管理施設の二酸化炭素排出量は9,451t-CO2で、前年度と比較すると572t-CO2増加しています。総合計画基準値 (H28) と比較すると、292t-CO2減少しておりますが、目標値の達成は困難であると考えられます。 (原因) 市庁舎や市民交流センターなど、計画策定時以降に整備された施設については、省エネルギー設備を導入し、CO2削減に取り組んでいるところですが、当初計画策定時とは、実際の施設規模等において、大きな乖離が発生したことが要因と考えられます。また、前年度から増加した原因としては、生活様式の変化により公共施設の電力使用量が増加したことが要因と考えられます。						目標達成度 (低)

基本事項01 低炭素社会の推進

指標②	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	1,247	1,855	2,025	1,700	(向上)
評価	(状況) 住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数累計は2,025件で、総合計画基準値 (H28) から778件増加しており、目標値を325件上回っています。 (原因) 再生可能エネルギー利用に対する意識が浸透してきているとともに、太陽光発電設備の価格が低廉化され、システムの導入が進んできていることが原因と考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事項02 水と大気環境の保全

指標①	水質のBOD基準値を上回った件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 水質のBOD（生物化学的酸素要求量）基準値を上回った件数は0件です。水質測定を実施している13河川・22地点（6回/年）すべてにおいて、BODが年平均値基準を満たしています。 (原因) 下水道等の普及、事業所や住民意識の向上などにより、河川水質が安定していることが原因と考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事項02 水と大気環境の保全

指標②	大気中の基準値を上回った日数（光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	日	27	34	-	0	(横ばい)
評価	(状況) 大気中の光化学オキシダントが基準値を上回った日数は、令和5年2月以降に公表される予定の県大気汚染測定結果より取得するため、実績値は取得できませんでした。令和2年度の年平均値については0.034ppmとなっており、光化学スモッグ注意報が発令される0.12ppmよりも低い状況となっています。 (原因) 工場設備の機能向上や、ハイブリット自動車等の普及が進んできていることなどが原因と考えられます。						目標達成度 (横ばい)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進
基本事項 02 水と大気環境の保全
基本事項 03 放射線対策の推進
基本事項 04 生活衛生の向上
基本事項 05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項03 放射線対策の推進

指標①	搬出が完了した除去土壌等の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	%	3.4	90.3	99.9	100.0	(向上)
評価	(状況) 搬出が完了した除去土壌等の割合は99.9%となり、概ね搬出が完了しました。 (原因) 除去土壌搬出に対する市民の協力が得られたことや、国による中間貯蔵施設への搬出体制が強化されたことによるものと考えられます。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項04 生活衛生の向上

指標①	生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	40	44	30	32	(向上)
評価	(状況) 生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数は30件で、前年度と比較すると14件減少し、総合計画基準値（H28）を10件減少しました。 (原因) 所有者による空地・空き家などの適正管理に対する意識の向上が図られてきているためと考えられます。					目標達成度	
						(達成)	

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標①	市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	g	821	841	827	743	(低下)
評価	(状況) 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は827gで、前年度と比較すると14g減少していますが、総合計画基準値（H28）を6g増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業系ごみは減少したものの、家庭系ごみが増加していることが要因と考えられます。					目標達成度	
						(低)	

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標②	リサイクル率（再資源化率）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	%	16.2	15.8	15.8	17.0	(横ばい)
評価	(状況) リサイクル率（再資源化率）は15.8%で、前年度と同じ値となっており、総合計画基準値（H28）と比較すると0.4ポイント減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、集団資源回収による回収量が減少していることなどが主な要因と考えられます。					目標達成度	
						(低)	